Hitachi Koki

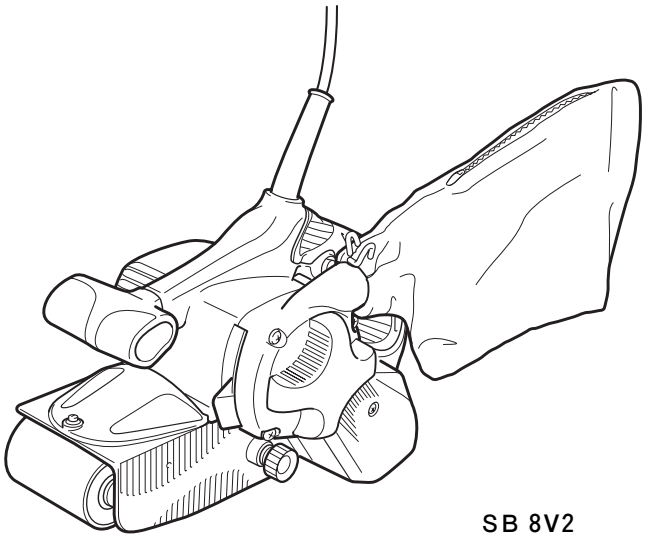
日立ベルトサンダ

76×533 mm **SB 8V2**
100×610 mm **SB 10V2**

取扱説明書

このたびは日立ベルトサンダをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



SB 8V2

HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ……2

ベルトサンダの使用上のご注意 ……5

各部の名称 ……7

仕　　様 ……8

標準付属品 ……8

別売部品 ……8

用　　途 ……9

作業前の準備 ……9

ご使用前に ……10

研摩ベルトの取付け・取りはずし ……11

粉じんの除去 ……12

研摩の仕方 ……13

保守・点検 ……16

ご修理のときは ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告：**誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意：**誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注：**製品のすえ付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨の中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では,耳栓,イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

⊡ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“⊡”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店に依頼してください。

ベルトサンダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，ベルトサンダとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

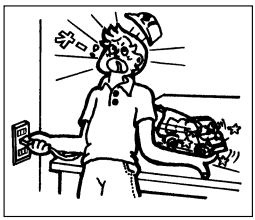
② 水，研削液などは使用しないでください。

乾式用のため，感電の恐れがあります。

③ さし込みプラグを電源にさし込むときは，スイッチが切れていることを確かめてください。

スイッチが入っていると，機体が走り出し，けがの原因になります。

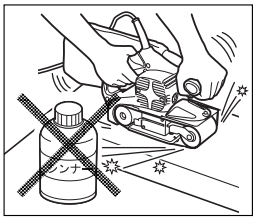
③



④ 鋼板などの研摩のときは，研摩粉は火花となって飛散するので，引火しやすいもの，傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また，研摩火花を直接手足などに当てないようにしてください。

火災ややけどの原因になります。

④



⑤ 使用中は，回転部に手や顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。

⑥ 使用中，機体の調子が悪かったり，異常音，異常振動がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑦ 誤って落としたり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。

破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑧ 次の場合は，ダストバッグを掃除し，粉じんを取除いてください。

ダストバッグに残った粉じんは発火の原因になります。

- **木材などを研摩した後に，鋼板を研摩するとき**
- **研摩作業を終えたとき**

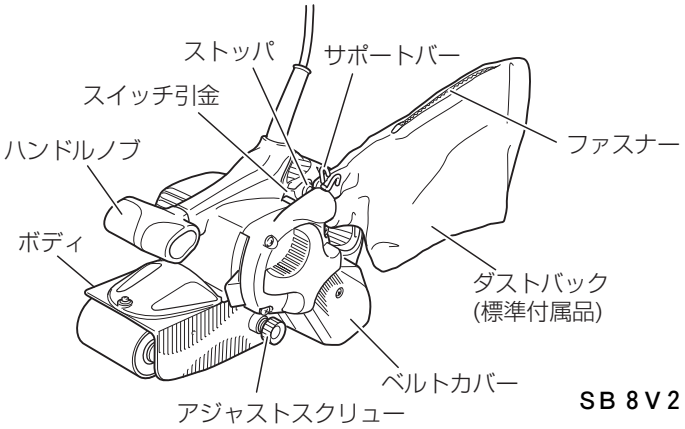
⚠ 注　意

① 研摩ベルトや付属品は，取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

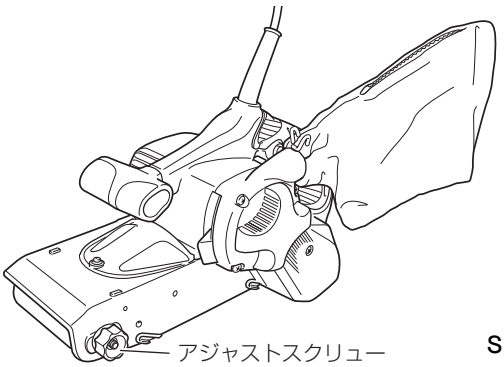
② 回転させたまま，台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

注
- **グラスファイバーの研摩には使用しないでください。機体の寿命が著しく低下してしまいます。**
- **衝撃を加えての研摩，ベルトのサイド接触による切断はしないでください。機体に無理な力が加わり，製品寿命が低下してしまいます。また，研摩ベルトが裂ける原因になります。**

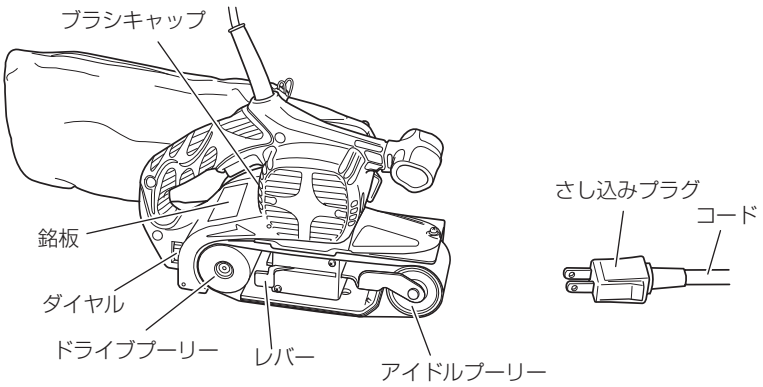
各部の名称



SB 8V2



SB 10V2



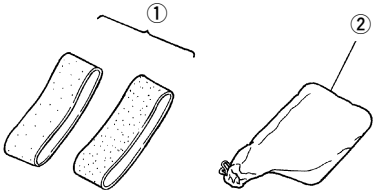
仕　　様

項　　目	SB 8V2	SB 10V2
使 用 電 源	単相交流 50／60 Hz 共用 電圧 100 V	
全 負 荷 電 流	11 A	
消 費 電 力	1,050 W	
研摩ベルト速度 （無負荷）	250 ～ 450 m／min	240 ～ 420 m／min
研摩ベルト寸法	幅 76 mm×周長 533 mm	幅 100 mm×周長 610 mm
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質　　量	4.3 kg（コードを除く）	5.2 kg（コードを除く）
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 5 m	
振動3軸合成値※1	＜ 2．5 m/s² ※2	

※1：振動3軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値）については，
JEMA［一般社団法人日本電機工業会］
ウェブサイト：http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html
をご参照ください。
※2：振動3軸合成値は，EN60745－2－4 規格に基づき測定しています。

標準付属品

①エンドレス研摩ベルト
（WA＃80，＃120の2種類）‥‥各1枚
②ダストバッグ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 1個



別 売 部 品 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ （別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

1．エンドレス研摩ベルト

SB 8V2（幅 76 mm×周長 533 mm）
SB 10 V2（幅 100 mm×周長 610 mm）

粒　度	ト 粒 の 種 類	粒　度	ト 粒 の 種 類
30	AA	150	AA，WA，CC
40	AA，WA，CC	180	AA，WA，CC
60	AA，WA，CC	240	AA，WA，CC
80	AA，WA，CC	320	AA
100	AA，WA，CC	400	AA
120	AA，WA，CC		

注）　エンドレス研摩ベルトは，1種類を10枚1箱として販売しております。
ト粒と粒度を指定の上，ご注文ください。

2．電動工具用集じん機

⚠ 警　告
• 金属表面の研摩等，火花が発生する作業時は集じん機を使用しないでください。集じん機が焼損する原因になります。

本製品は，電動工具用集じん機に接続して使用することができますので，お買い求めの販売店にご相談ください。

用　途

○ 木工製品の研摩仕上げ，フローリング仕上げ
○ 木材塗装面の下地みがき
○ 金属表面の研摩仕上げ
○ 金属塗装面の下地みがき，さび落し，塗り替えの際の塗料落し
○ コンクリートの表面仕上げ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認……

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ(延長)コード……

⚠ 警　告
• 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 ㎟	15 m
2 ㎟	25 m
3.5 ㎟	45 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認……

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと，不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。特にベルトサンダの場合，機体が走り出しますのでけがの原因になります。スイッチはスイッチ引金（7ページ参照）を引くと入り，はなすと切れます。

スイッチの引金を引き，はなしたときスイッチ引金が戻ることを必ず確認してください。

3．研摩ベルトを取付ける……

取付けは11ページの「研摩ベルトの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

4．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

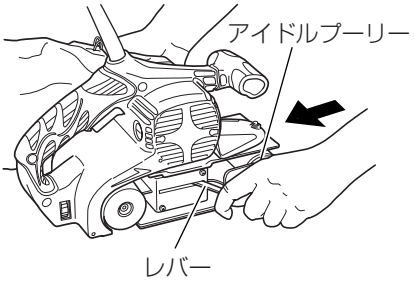
研摩ベルトの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

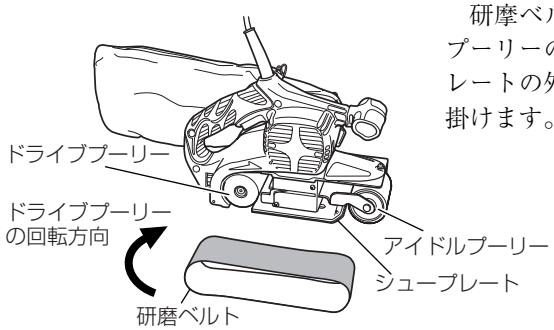
取付け方

1．レバーを手元に引く……



ベルトサンダ本体を支え，指でレバーを手元に引くと，アイドルプーリーは矢印のように後方へ移動し，研摩ベルトが掛けられます。

2．研摩ベルトをプーリーに掛ける……



研摩ベルトは，内側の矢印をドライブプーリーの回転方向に合わせ，シュープレートの外側を通して２つのプーリーに掛けます。

注 **• 研摩ベルトは内側の矢印方向に注意し，確実にプーリーに掛けてください。矢印方向を間違えると作業能率が下がり，研摩ベルトの接合部がはがれる原因になります。**

3．研摩ベルトを張る……

⚠ 注　意
• レバーで指が叩かれるときがあるので注意してください。

注 • **研摩ベルトを張った後，研摩ベルトの位置を調整する必要があります。やり方については 13 ページ研摩の仕方の第 1 項「研摩ベルトの位置を調整する……」をご参照ください。**

指でレバーを奥へ押しますと，アイドルプーリーは前方に戻って，ベルトは適当な張りになり，作業する状態になります。

取りはずし方

レバーを手元に引くと，研摩ベルトは張りがゆるみ，簡単にはずせます。

粉じんの除去

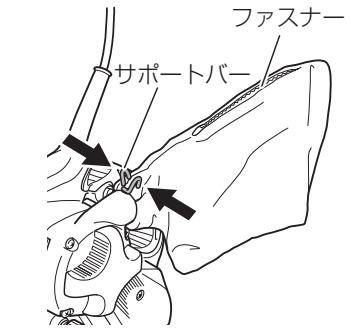
ダストバッグの中の粉じんが溜まりすぎますと，集じん効果が落ちてしまいます。

ダストバッグの中の粉じんが約 7 割程度になったときに除去しますと，集じん効果が高く，能率よく作業できます。

粉じんの除去は次のように行なってください。

(1) サポートバーをゆるめ，ダストバッグを取りはずします。

(2) ファスナーを引きますと口が開きます。

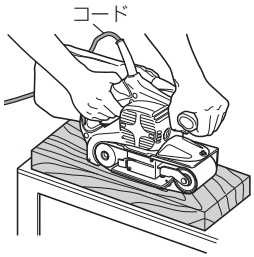


研摩の仕方

⚠ 警　告

- **研摩する場合，水や研削液などは絶対に使用しないでください。感電の原因になります。**
- **作業服のそで口がゆるんでいると，研摩ベルトとプーリーに巻き込まれる恐れがあります。**
- **作業中は保護メガネを使用してください。また，研摩粉が多く出る場合はマスクもつけてください。**

⚠ 注　意



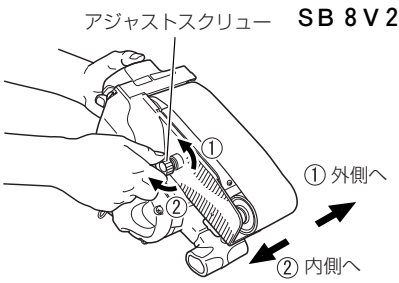
- **研摩ベルトが回転しているときは，床の上に置かないでください。機体が走り出し，けがの原因になります。**
- **コードは後ろから見て，左側になるようにします。右側になると，コードが，回転する研摩ベルトにより損傷することがあります。（左図参照）**

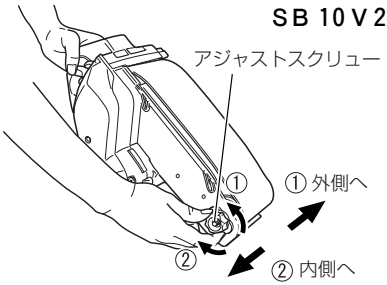
1．研摩ベルトの位置を調整する……

スイッチを入れ，少し回転させ，研摩ベルトの回転位置を調べます。回転中，研摩ベルトがドライブプーリー端面から外側に２～３㎜出るよう調整してください。

研摩ベルトが内側に寄り過ぎますと，内部に接触して切れやすくなります。

位置の調整はアジャストスクリューを回してください。





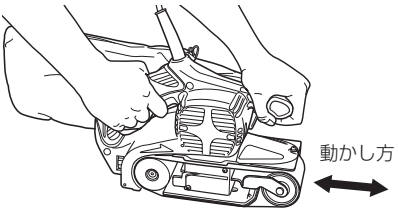
注 • **作業中に，ずれを生じたときにも，作業を続けながら，同様に調整することができます。**

2．スイッチを入れるときは……

機体を加工面から離してスイッチを入れます。研摩ベルトを加工面に接触したまま起動しますと，加工面に大きな傷をつける恐れがあります。

スイッチを切り，停止する場合も同様です。

3．ベルトサンダの持ち方……



ハンドルとハンドルノブを持ち，研摩ベルトが加工面に対し，左右一様に当るよう機体を加工面に押し付けます。

必要以上に強く押し付けると，モーターに無理させ，研摩能率を悪くします。

自重または押付力 29 N｛3 kgf｝以内が適正です。

4．ベルトサンダの動かし方……

機体を手元から前方へ移動し，手元に引きもどすという往復運動をくり返します。

(1) 研摩ベルトの選び方

研摩ベルトは作業に適した粒度，ト粒のものをお使いください。

仕上げの程度	粒　　度
荒 仕 上 げ	30～ 40
中間仕上げ	40～100
仕　上　げ	80～240
上 仕 上 げ	180～400

ト粒	用　　途
ＡＡ	鋼材用
ＷＡ	木材，竹材用 （ＷＡの粒度は 40, 60, 80, 100, 120, 150, 180, 240の８種類です。）
ＣＣ	非鉄金属，コンクリート，アルミ用 （ＣＣの粒度は 40, 60, 80, 100, 120, 150, 180, 240の８種類です。）

(イ) 粒度の種類については８ページ「別売部品」を参照してください。

(ロ) 粒度は手作業の場合と比べ，荒目のものをお選びください。

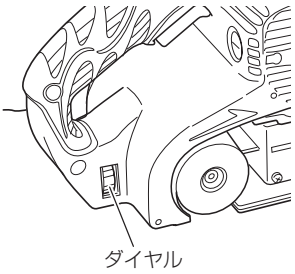
(ハ) 被研摩面が一様に研摩されるまでは同一粒度の研摩ベルトをご使用ください。仕事途中で粒度の違う研摩ベルトに取り替えますと，きれいに仕上がらないことがあります。

5．スイッチの操作……

スイッチは引金を引くと入り，ストッパを押すと，指をはなしても，スイッチは入ったままになっており，連続運転に便利です。

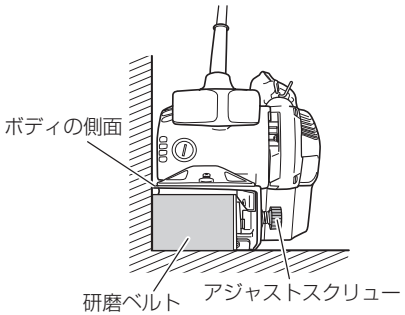
切るときは再び引金を引きますとストッパははずれます。

6．研磨ベルト速度調整……



ＳＢ８Ｖ２／ＳＢ１０Ｖ２には無段階に研磨ベルトの速度を変えられる速度調整機能を備えています。ダイヤルが〝１〟のときは最低速度で、〝５〟のときは最高速度となります。

7．すみ部を研摩するには……



左図のように，アジャストスクリューを回して研摩ベルトがボディの側面と一致する様にして作業しますと垂直面真下のすみの部分を研摩することができます。

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．研摩ベルトの点検……

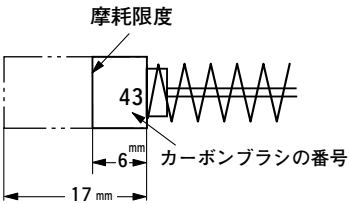
研摩ベルトのト粒が摩滅したり目づまりしたりすると，研摩ベルトの切れ味が悪くなり，極端に能率が低下しますので新品と交換してください。

2．各部取付けねじの点検……

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検……



（番号 43 はコードNo.の下 2 桁を示しております。）

カーボンブラシの番号は（43）

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーター故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（6 mmぐらい）になりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 **• 新品と交換の際は，必ず図示の番号の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法

カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（7 ページ参照）をはずしますと取出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • **モーター内部にごみやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷運転させて，風を送りますとごみやほこりの排出に効果があります。**

5．表面のよごれ清掃……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6．作業後のダストバッグの掃除について……

作業後は必ずダストバッグを掃除し，粉じんを取除いてください。

7．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

メ　　モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896-1740	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733-0255	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

WEBにアクセス

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号（品川インターシティ A 棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

400
部品コード　C 99159502 M